

第 20 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム社会科学学生賞～

<順不同、敬称略>

※社会部門は、当論文賞受賞時の所属を記載しております。

[入賞]

「通信事業における次世代ユニバーサルサービスの設計」

藤井 資子 慶應義塾大学 大学院 経営管理研究科 修士課程 2 年

民間の参入が難しい過疎地におけるユニバーサルサービスを設計するというアイデアは、タイムリーかつ重要なテーマである。具体的事例を取り入れながら論じており、意欲的な作品である。

「京都の中小旅館における情報技術の活用」

吉岡 靖文 同志社大学 商学部 商学科 3 年
奥村 修平 同志社大学 商学部 商学科 3 年

京都の中小旅館を救いたいという意図で始められた研究であり、着眼点がユニークである。中小旅館 100 軒に電話とファックスによるアンケート調査を行い、実証的に検討している点を評価する。

「無線 LAN によるデジタル・ディバイド解消への考察」

山本 崇 専修大学 経営学部 経営学科 4 年

無線 LAN と無線インターネットを利用することによって、地域におけるデジタルディバイド解消に役立つことを論じており、面白い発想である点を評価する。

「モバイル環境の変化に伴うモバイルラーニング発展の可能性」

小埜山 和幸 専修大学 経営学部 経営学科 4 年

携帯電話を用いるプッシュ型の e-ラーニングの可能性について、様々な図表を用いて考察しているところに特色がある。テーマ選択を評価する。

[佳 作]

「社会ニーズに即した ITS の展開と地域活性化」

裘 寅杰 名古屋大学 大学院 理学研究科 修士課程 1 年

ITS というタイムリーなテーマを扱っており、ETC と IC カードの結合に関する提案がユニークである点を評価する。